

## 中川村議会だより第137号（2024年6月議会）アンケート結果

### 1 137号の表紙について

- ◆ いいですねえ～「生きる」今月は山仕事ですか。チェーンソーの音が聞こえてきます。このクヌギ？は、いい薪になり脱炭素につながるのでしょうか。後ろは松？ 布目を生かしてこの立体感はどうやったらできるのでしょうか。見ているだけで元気が出ます。次回はなにかたと楽しみです。
- ◆ 力強さを感じるとてもいい絵ですね。
- ◆ チェンソーの音が聞こえてきそうな素敵な絵ですね。
- ◆ 力強く踏ん張る足腰に元気をもらいます。横になっている木達も切られる寸前まで生命力にあふれていたに違いありません。命をいただきながら、美しい森林が維持されていくよう願っています
- ◆ 力強さを感じられる絵ですね。
- ◆ 北島遊さん2度目の登場ですね。次号は別の人になるのでしょうか？前回は記しましたが、南陽の小澤健二さんの切り絵おススメです。
- ◆ 絵と議会だよりの文字フォントが雰囲気合って良いと思います。
- ◆ 温かみもありますが、力強さを感じる素敵なイラストだと感じました。
- ◆ 樹木伐採の臨場感が伝わるようで良い絵ですね。ちょっと森に入ると村内で見かけられそうな身近な絵です。
- ◆ 伊那谷らしい風景画で素敵です。

### 2 137号の紙面構成について

- ◆ あれっ～なぜだかわかりませんが、前号の方が読みやすかったです。前回の方が、字が少ない？写真が多い？人が入っている写真が多い？写真イラスト動きがある？そうだ、全部のページ数が違うので圧縮されたのですね。好みの問題ですから別にいいです。ぱっと見た感じが違うのです。
- ◆ 写真やイラストが所々に入っており見やすいです。
- ◆ 先日別の自治体の議会だよりを見る機会があったのですが、中川のほうが見やすい紙面構成でした。
- ◆ とても見やすいと思います
- ◆ なんとなく、モニターの声は最終 P にあるような印象だったので、今回はその後に記事が続いていて“アレ？”と思いましたが、視察報告を見開き記事にするための工夫だったのですね。それだけ、視察報告に力が入っているということでしょうか。
- ◆ 一般質問にあるイラストや写真はちょっとしたことかもしれませんが興味・関心を引き寄せていいなと思いました。
- ◆ 定例議会のことが頁の大半ですが、その他にも「チョコっと訪問」「総代さんこんにちは」視察報告などあり読みやすいです。

- ◆ 文章などの簡潔なまとまりは良いと思いますが、背景、例えばブルーのメモ用紙をクリップで留めたようなデザインは必要ないと思います。目を引くアイデアですが、中身の文章が読みにくいです。
- ◆ 他にも全体的に飾り罫、背景デザインが色々あって個人的にはちょっとうるさい感じがします。
- ◆ 記事の内容のタイトルが、各ページの上部に記載されていて、なんのページか分かりやすくなっていて良いなと感じました。最初に議会だよりを読み始めてから、紙面構成や記事がとても読みやすく、見やすいものになったと感じました。文字量も詰め込むだけではなく、大きさや文字数などぱっと見ても、読んでみようかな。という気持ちになるので、このくらいのボリューム内容がありがたいなと感じました。
- ◆ それぞれのページの一番上にページのタイトルがあり内容を探すときに見やすく便利だった。

### 3 137号の記事の内容について

- ◆ いよいよ歴民館の工事が始まりました。サークルで集まった時、「何が始まったの?」「壊すの?」「どうなるの?」「縄文住居は?茶室は?」などと聞かれました。私は昨年度まで社会教育委員をやっていたので、知っていることは説明しておきました。でも、皆さんの知らなさにはびっくりしました。私もたまたま社会教育委員だからおおよそのことは知っていましたが、それがなければ、皆さんと同じだったと思います。あんなにお金をかけて大工事なのに、皆さんに知ってもらうために何があったでしょう。歴民館だより?読まないなあ。いつどんな工事をしてどんな建物になっていくかなど工事予定と完成予想図、どんな部屋ができてどんなことに利用できるかなど明るい展望を知らせて下さい。前号も書きましたが、立派になっても土日みならず火曜日木曜日だけの開館なら、利用者数が増える訳がありません。なぜ、この日しかできないのか、説明もしてください。以前聞いた時に「この規模では決まりになっている」というようなことをお聞きしました。「有効的に活用する。村民の憩いの場になるような歴民館」を目指してください。こういうことを誰に言ったらいいのかわかりません。
- ◆ 議員さんの意見どれも納得です。私が全く気付かなかったことなど知り勉強になります。すぐできそうなこと、未検診者ゼロ、リーフレット。
- ◆ 国や法律が絡むことなどは、ぶれない長期的な指針を持ち続けて下さい。
- ◆ 島崎さんの「より多様な声を集める手法?」子供・若者はもちろん核ですが、婆さんたちもたまには加えて下さい。爺さんたちはわりと話す機会があるようですが、引退した婆さんは草取りばかりになってしまいます。思っていることはあっても話す機会がない。スーパーの中を大声で走り回っている我が子を注意しないお母さんと話してみたいです。
- ◆ チョコッと訪問 私は調べていることがあって、他市町村の図書館を、まず訪ねま

す。ほとんどが親切に対応して下さり、欲しい資料も見つけてくれます。(そうではない所もあり) 図書館はその地域の文化のバロメーターと思います。今後、今の形は変わっていくと思いますが知恵を出し合って守っていきたいと思います。

- ◆ 放課後こども教室と学童クラブとの連携。教育と福祉は縦割りなのでできない、と他の場面でも聞きますが、日本の縦割り行政の欠点だと思います。以前は都会で保育園と幼稚園は違うとか切り離されていましたが今は柔軟になってきています。同じ子供のことなのでですから仕組み作り賛成です
- ◆ 図書館について、公共図書館と学校図書館の統合について書かれていました。職員人数、図書保管スペースなど解決できる方法のひとつではないかと思います。先行事例を参考により良い形となると良いなと思います。仮に合併したら現在の図書館の場所は学童保育に使用してはどうでしょうか。こういう議論は参加したいなと思うのですが機会がないですね。
- ◆ エネルギー利用・開発の記事は興味が尽きません。かといって検索して研究するなどはしませんが、記事になっていることで定期的に目につき「そういえば」と思い返してみる貴重な情報源です。次も楽しみです。
- ◆ 中川から域外に流失しているエネルギー代金が5億とありましたが、それは他の自治体と比べて多いのでしょうか？森林資源の活用でエネルギー問題と森林管理の問題が改善の方向に向かうなら良いと思いました。
- ◆ 教員の確保を考えると今後は大変になっていく気がします本来教師がしなくて済む仕事を任せられる人を増やすなど働き方を変えるようにしていく必要があると思います。
- ◆ 図書館訪問は利用者の一人として興味深く読ませていただきました。紙媒体が好きですが、将来的にはどうなっていくんだろうと考えさせられます。
- ◆ 「チョコっと訪問」のページとても興味深く読ませてもらいました。検索システムが3校と図書館で共通になっていないのはとても残念！至急(新しい学校の開校を待たずに)取り組むべきだと思います。
- ◆ 「放課後子ども教室」実際に活動している様子が知りたかったです。子どもの姿が伝わってこない・・・
- ◆ 図書館の訪問の記事読んで、中川村の図書館は本の希望を出すと取り入れてくれたりするので、もっと住民に利用してもらえるようになると良いなと感じました。年々、猛暑になり外で遊ぶのが難しくなっているので、カフェスペースや勉強スペース、キッズスペースなどが充実すると利用者も増えてくるのかなとも感じました。学校の統合に伴い、図書館や周辺施設の充実化もぜひ図っていただきたいなと感じました。
- ◆ 令和6年度中川村歴史民族資料館新築改修工事について 実際に改修工事が始まり新しくなる資料館はどうなるか興味が湧きます。工事の経緯は分かりましたが、

文字だけでなく図やイラストなどでこんな感じになるというところを見せてほしかったです。

- ◆ 地域新電力・エネルギー事業体視察報告について 最近中川村でも薪ストーブなどの補助が始まり、少しずつ再生可能エネルギー熱が上がり始めているのかなと感じます。森林資源が豊富な中川村だからこそできる事だと思います。もっと他にも小さい村だからこそできる方法をみつけられたらと思います。ここ数年来続く夏の異常な暑さや、冬でも暖かい気候を何かのエネルギーに変換できないでしょうか？
- ◆ 議会チョコっと訪問 今回は図書館と放課後子ども教室でした。子育て世帯が関心の高そうな施設、内容で選び方良いと思います。それぞれの現状と課題が整理されていて良かった反面、文字中心になってしまっちょっと読みづらくなってしまった感じがしました。
- ◆ 放課後子ども教室は私の長男も利用しており、とてもいい顔で毎回帰ってきます。スタッフの方々には感謝ですが、給料等は出ているのでしょうか。奏の森を放課後の居場所として利用することはとてもいいねと話していますが、その時間のスタッフがいてさえくれればすぐに実現可能だと思っています。まずは月に1回（水）に村のバスで奏の森に遊びに行く。バスの予算とスタッフの配置（有給）を検討していただきたいです。

#### 4 議会広報ならびに村民と議会のコミュニケーションについて

- ◆ 議会広報委員会ご苦労様です。
- ◆ 漠然と「意見交換」ではなく、なにかテーマを決めそれに対して○×回答で村民の意見をきいてみる。程度の簡単に参加できるものを用意して地区の集まりなどに顔を出すとか…アンケート記入してだと、その人の気持ちを書き出すだけって思うけれど、なかなか意見を出すのって難しい。ましてや人前で話すなんてって感じで誰もしゃべらない。というのが周囲の一般的な反応ですね。「議員さんがくるから」って構えてしまう感じもあります。対面って難しいですね。酒の席ならみんなしゃべるのに。
- ◆ モニターをしても「議会」とはやはり距離があって「自分事」としての感覚が乏しいのが現状です。 そんな中で「チョコっと訪問」は議会が身近に感じられる記事として毎回楽しみに読ませていただいています。
- ◆ 議会だよりを読んだ人が、気軽に感想や意見を発信できるよう、広報誌の最後の方に、グーグルフォームやロゴフォームでの意見フォームなどがあっても良いのかな。と感じました。委員会合同視察 報告のページに皆様からのご意見をお待ちしております。とあっても、意見を投稿する案内等はないので、QRコードで気軽に意見を発信できるようにしてもよいのかな。と感じました。（現状は、HPからメールで発信するしかないように見受けられるので…）

## 5 議会・村に対するご意見・ご要望

- ◆ 小さなことからコツコツと。そんなこともあるのかという問題も解決にむけて取り組んでもらえており中川村がより良い未来へ向かっていると安心します。空き家問題・福祉問題等心配事は多々ありますがよろしくをお願いします。
- ◆ 議会も村も教育については熱心に取り組んでいただいていることを強く感じます。一方、そうやって教育を受けて成長した若者が村内で生活、活躍していくための産業の育成についてはどのような取り組みがされているのでしょうか？農業以外の振興はあまり読み取れない印象です。
- ◆ かなでのもりっことして認可外保育施設保育所を今年度4月より運営しています。その中で年に2度保育施設が実施する義務として内科検診、歯科検診がありますが、直接医師と契約する資金が現時点ではなく、今年度は村にお願いして別の形で実施をしました。村として認めていただいている保育施設であるという点から、村の保育園と同様に医師との契約金を村に負担していただきたいと考えています。

## 6 その他（お気づきのこと ご意見を自由に）

- ◆ 「前の号中学校の木曾駒登山が中止になりました。とても残念です。の続き」信毎に出た時など話題にすると、周りの人は「先生が大変なんだよ」「今の先生は山へ登れないんだよ」と言います。私は違う理由も追加します。先生のせいにされていることが多いです。「長年歴史のある行事を学校の職員会だけで結論を出してしまっているものなのか。残念がっている人はいっぱいいます。いろいろな人の声を聞いてほしかったです。そしてやむを得ずなら仕方ないけど。ここで止めたら復活は難しいかもしれませんが、再検討を願っています。」こういうことを議員さんに言うのではなく、言うとしたら教育委員会？中学校長？意見を伝える術を知りません。島崎さんのおっしゃったように一貫校になるときにでも復活を！
- ◆ 中学校の「フリーラーニング」はとても楽しそうで素晴らしい授業ですね。残念ながら特にスキルもないのでボランティアのハードルは高いですが、どんなことをしているのか学校だより等で知りたいなと思いました。
- ◆ どんちゃん祭りのビンゴ大会は時間がかかりすぎるという話を多数聞きました。やり方を再考する必要もあるのではないかと思います。
- ◆ 両親が他県のある市に住んでいて、たまたま帰省した時に議会だよりを目にしました。議会の報告をただ羅列してあるだけのとても手に取って読みたくなる気持ちにならない物でした。中川村の議会だよりからは議員さんお一人お一人の熱意やあたたかみが伝わってきます。「チョコっと訪問」や「総代さんこんにちは」のページも楽しみです。今後もいろいろなところへ出かけてください。
- ◆ ここ最近の全国的な米不足という不思議なニュースについて皆様のご意見を伺いたいです。減反政策をやっている上に水田を潰して麦畑にすると補助が出たりと、政府方針がよくわからないな、と思っていたら急にインバウンド効果で外国人が消

費する分などで米がなくなったという理屈。外国人旅行者の人数や米生産量の発表されているデータで計算したユーチューバーがおられますが、彼の解説によると市場からなくなってしまうほどの消費率では無いようです。一方では安いアメリカ産の米が出回っているとか、あまりに露骨なアメリカ式マスメディアコントロールだと思います。農薬や肥料の危険性も含めて、基本の食料について安全なもので自給率を上げていく必要があると思います。農家の方々には頑張ってくださいたいです。

- ◆ 議会会期中の議会の様子をオンライン and 録画で知ることができると、より村と村民の距離も近づき村運営にとってプラスになると思います。